

六九

天保九年十月

濱島外務省の直轄
排布の関之に決るべき

外務省

附屬書類添付

第21092號

京中第一〇三號

大正九年十月二十一日

大阪商船株式會社

專務取締役 深尾 隆太郎

外務省通商局長 田中 郁吉 殿

拜啓

弊社シドニー代理店ヨリ本月十六日附電報ニヨレバ

濠洲労働協會ハ十月卅一日以後亞細亞人ノ乘組居ル船舶ノニユ一

ジララノ下行及濠洲沿岸諸港間ノ積揚荷役ニ従事スルコトヲ拒絶

ス恒シ遠洋貨物ハ此ノ限ニアラズ

トノ決議ヲ爲シタル由ニ有之候間何等御參考迄ニ此段御報告申上候

敬具

大正九年十月廿五日記録第二部接受

大阪商船株式會社

大正九年十月廿五日記録第二部接受

第三課

(九七號)

(行印金成一)

3-2391

0229

Messrs. American Trading Co., Sydney. Osaka, Oct. 17, 1920.
(0:20 A.M.)

Dear Sirs:-

Following telegram dated Oct. 16, 1920 (2:47 P.M.)
was received to-day from your goodselves and translated as under:-

Yours truly,

Mgr., Dept. of S. S. T.

TRANSLATION

(This is our No. 21 and leaves here on
Oct. 17. Your No. 12 is last received.)

Australian transport workers federation
are refusing work vessels manned by
Asiatic crews carrying cargo interstate
and to Newzealand ports after October
31st Deep Sea cargo will be worked as
usual

課	務	業
9.10.19		

大正九年十月十六日

神戸商業會議所

中

三井物産株式會社

拜啓 濠洲労働者ノ排日ニ就テ

從來白人主義ヲ宣傳致居候濠洲ハ往々日本船船ニ壓迫ヲ加フルノ跡有之候處本日シドニー弊社文店ヨリ左記ノ要領ノ電信入手仕候

" It is most probable wharf labourers refuse to load any Japanese steamer for New Zealand after October 31st (中略) "

" Will telegraph later on final decision. "

愈々右ノ如ク決定ノ魄ハ弊社取扱船タル標名山丸明海丸京都丸ノ如キハ勿論ニニューカウスルヨリニュージランド行ニ取極メラレ居ル邦船(富方ノ深知スル所ニテハ西海丸喜久丸第二東洋丸ノ三隻取極ラレ居ル模様ニ御座候)ハ全部約定ハ取消ノ運命ニ達着致スベク自然

神戸

三井物産株式會社船舶部

大正九年十月廿五日 記録第二二號接獲

邦船ノ打撃モ不尠サルモノ有之候殊ニ目下ノ如ク我海運界ノ萎靡振ハサル際右ハ邦船ノ好消化航路ナリシモ右ノ爲メ邦船ノ活躍圈内ヲ縮少サレントスル事誠ニ遺憾ノ至リニ御座候
右御参考資料トシテ御報遣申上候若シ本件ニ關シ貴所ヨリモ外務省ニ御通知被下御取調ノ上適當ノ方策ヲ講ゼラル様御依頼被下候ハマ幸甚ノ至リニ御座候

元ハ右御依頼迄

勿々

神戸

三井物産株式會社船舶部

第 1 項 第 1 号

電信案 (略)

電信案 甲

大正九年十月廿二日 起草 大
同 年 月 日 附

送第 号

主管通商局長

あ

主任

印

内田大臣

在ロンドン
玉右衛門 領事代理 野村

第 三 八 号

大正九年十月十五日 記録第二部接受

大阪商船会社へ、入電ニ付レバ

外務省

濠洲労働組合ハ十月廿一日以後

至細要人、乗船居ル船中ノ

ミスタードレーン及濠洲諸君

諸君同、積揚セ荷役ニ名乗ル

ルコトヲ拒絶スル者ハ法務省

ナリヤ、申付、且同雇アリ

ナリヤ、申付、且同雇アリ

電送第 9240 号
大正九年十月二十二日 午後 20 時



電信課長

大臣

次官

政務

通商

條約

情報

人事

會計

文書

條約實施

15890 暗

本省着

大正九年十月

二十四日

内田外務大臣

玉木總領事代理

第八六号

大正九年十月四日

記録第一節接受

貴省第三八号ニ関シ
Mariners-Federation, Waterwide
Seamen's Union ニ労働組合ニ本
月十三日會議ヲ催 海外貿易ニ從スル
汽船會社 (Oversea-Shipping-Com-
pany)

Mariners) が組合外ノ労働者ヲ雇入ル
コトニ反対シ右要求 容レザレバ同盟罷業
ヲ行フニシトノ決議ヲナシタルガ今會議ニ
於テ右三労働組合ハ今迄有名人種ノ
兼組ニ居ル船舶ニシテ Australasia
沿岸貿易ニ從スルモノノ労働ニ從マセ
ルニ但シ組合労働者ノミヲ雇ヒ入レ組
合以外ノ労働者ヲ雇入レガルコトノ契約ヲ
ナセル汽船會社若クハ其代理店ノ船舶ノ
労働ニ從スルハ此限ニテラストノ決議ヲ

ナセリ右契約ヲナセルモノ数會社アル由ナル
モ何レモ本月末ニテ期限満了スル由ニシテ
ガ更新ニ當リ *Overseas Trade*
ニ従ふセル船舶所有者ハ有色人業組
船舶ト何等關係ナキニテラズ寧ろ自己
競争者ヲ駆逐スルコトナルヲ以テ右決
議ニ賛成スルキモ *Overseas Trade*
従ふセル船舶ノ所有者著リハ代理店ハ
有色人業組船舶ノ労働ニ従ふセザル条
件ヲ附スルニ於テハ契約ヲ更新セザルハ

ノ組合以外ノ労働者中ニハ *Argonauts*
Seaman ニ屬スルモノ及ビ *Refrigerator*
Boilers 等アリ其多クハ千九百十七
年ノ大同盟四條業ニ差違ニテ労働ニ従
ふセルモノニシテ多クハ汽船會社ハ是等
ノ労働者ヲ保護シ特權ヲ与ヘ居レルヲ
以テ前懸ニ組合ハ之等ノ特權労働者ヲ
常ニ監視ナシ居ルモノナリ要スルニ今回ノ
有色人業組汽船ノ労働ニ従事セザルコトノ
決議ハ前懸第一ノ決議即チ組合以外

第11号
第11号
第11号

附屬書類添付

船監第一三〇七號

附屬書類添付

大正九年拾月廿六日接受

船監第一三〇七號

通牒

大正九年十月二

外務省通商局長殿

濠洲ニ於ケル船舶ノ積揚荷役ニ關スル件

本件ニ關シ今般大阪商船會社ヨリ別紙寫ノ通り申出有之候ニ付爲參考
右及送付候

大正九年十月廿六日記係第二部接受

通牒

第課

遞信省

ノ労働者ヲ排斥スルノ目的ヲ遂行スルノ手
段トシテ控ハシムルモノナルモ第一ノ目的達
成セザル間ハ第一ノ決議ハ汽船會社ニトリ
大ナル苦痛ニアラズ蓋シ組合以外ノ労働
者ヲ雇入ルルヲ得ゴシバナリ目下新聞紙
上ニテ汽船會社側ト労働組合側トノ間ニ
黑白ヲ争ヒ居シリ数日前聯邦總理大臣
当地出張ノ際両者ノ間ニ調停ヲ試ミタル
詎アルモ其結果ハ未ダ知ルヲ得ズ

通信省

京甲第一〇三號

大正九年十月二十日

大阪商船株式会社

事務取締役 深尾隆太郎

通信省船政局長

若宮貞夫 殿

拜啓

弊社に代りて本月十九日附電報ニヨレバ

濠洲労働協会ハ十月廿日以後西畑五人ノ乗組

居船船ノニテラレド行及濠洲沿岸諸港向ノ積

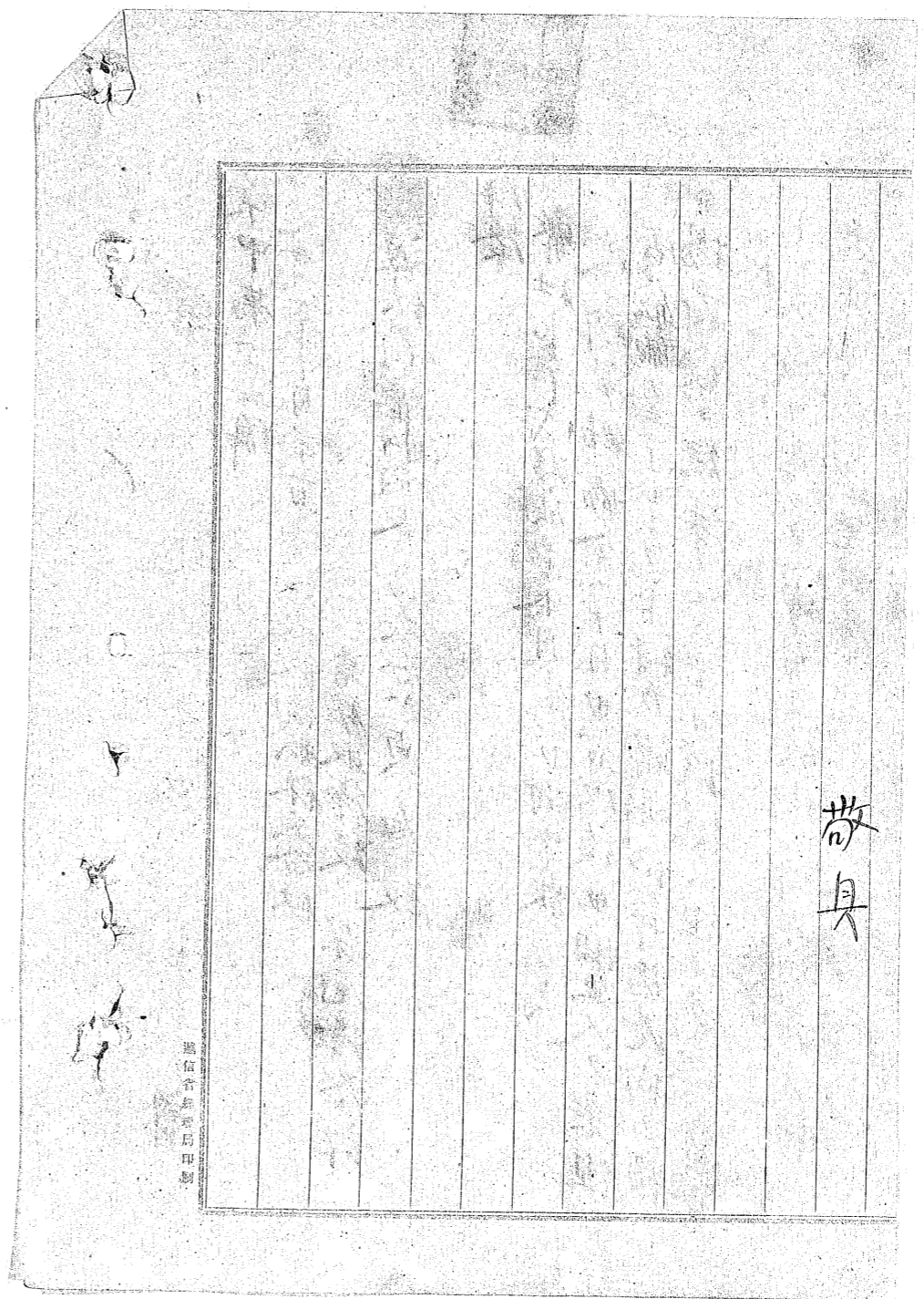
揚荷役ニ従事スルニテノ振電ニ但シ遠洋貨物

ハ此ノ限ニテラス

トハ決議ニ為シタル由ニ有之候向可奉御参考ナシ

大正九年十月廿六日 記録第二部 接受

此段申報者申上候



3-2391

0237

文書課長

大正九年十月廿六日接獲

大正九年十月廿六日 起草
同一年十月三十一日 附

別紙

送第 四九六號

主任

大正九年十月廿七日發送済

第 門 第
第 類
第 項 第

主管 通商局長

田中局長

長官管理局長

大阪高等裁判所 事務局長

事務取扱部長 深尾隆太郎

神戸市

神戸市物産協会 事務局長

以上 兎及通

外務省

濠洲労働組合 決議 三項 三件

本件

濠洲労働組合 決議 三項 三件

大阪高等裁判所 事務局長 決議 三項 三件

神戸市物産協会 事務局長 決議 三項 三件

長官管理局長 決議 三項 三件

大阪高等裁判所 事務局長 決議 三項 三件

神戸市物産協会 事務局長 決議 三項 三件

浄書 校正

林有造

別紙在ニ下ニ玉木總領事代理
素電第八六号寄添附ノ下
但改文ノ令ニテ

外務省

3-2391

0239

✓

趣

大坂商船
三井物産
船務部

15890 暗

森着者

大正九年十月

三井物産

内田外務大臣

王木総領事

大正九年拾月廿八日記録第一号

海州労働組合 (三井物産) 船務部

Workers-Federation, wateride

workers-federation

Seamens Union 船務組合

月十三日會後う催 海外貿易ニ從スル

汽船會社 (Oversea-Shipping-Com-

panied) が組合外ノ労働者ヲ雇入ル。

コトニ反シテ右要求 容レザレバ同盟罷業

ヲ行スニシトノ決議ヲナシテ本會派

於テ右邦労働組合ニ今迄有邑人種ノ

兼組ニ居ル船務ニシテ Australasia

沿岸貿易ニ從スルモノノ労働ニ從マザ

ルニシテ組合労働者ノミヲ雇ヒテ組

合以外ノ労働者ヲ雇入レザルコトノ契約ヲ

ナセル汽船會社若クハ其代理店ノ船務ノ

労働ニ從スルハ此限ニアラストノ決後

ナセリ右契約ヲナセルモノ數會社アル由ナル
 事何レモ本^林月不^限期限満了スル由ニテ
 が更新^ス当リ Antares State-Trade
 ニ從^テセル船舶所有者ハ有色人業組
 船舶ト何等關係ナキニテラズ寧ろ自己
 競争者^ト駆逐スルコトナルヲ以テ右決
 議ニ賛成スルキモ Oversea-Trade
 從^テセル船舶ノ所有者若^シ代理店ハ
 有色人業組船舶ノ當^テ從^テセザル条
 件ヲ附スルニ於テハ却^テ契約ヲ更新セザルバ

ノ組合以外ノ當^テ者中ニ Royalist-
 Assurance ニ屬スルモノ及ビ Rotterdam
 Assurances 等アリ其^ノ數ハ今九百十七
 年ノ大同盟國營業ニ差違^ニテ當^テ者ニ從
 事セルモノニテ多ク^シ船舶會社ハ是等
 ノ當^テ者ヲ保護シ特權ヲ与^フ居^ルルヲ
 以テ前^ニ三組合ハ是等ノ特權當^テ者ヲ
 常ニ嫉視^スタ^リ居^ルモノナリ西^ノ各^ノ埠^ノ
 有^ル人業組船舶ノ當^テ從^テセザルコトノ
 決^シ後ハ前^ニ顯^シテ一^ノ決^シ後^ニ即^チ組合以外
 即^チ

ノ労働者ヲ排斥スルノ目的ヲ遂行スルノ手
 段トシテ撰バシタルモノナルモ其ノ目的達
 成セザル間ハ之ニ決然ハ海軍會社ニトリ
 大ナル苦痛ニアラス蓋シ組合以外ノ労働
 者ヲ雇入ルニ得トナリ自ラ新聞紙
 上ニハ海軍會社側ノ労働組合側ノ間
 果シテ争ヒナレバ数日前聯邦總理大臣
 官邸出張ノ際南米ノ自ニ謝停ヲ試ミタル
 説アルモ其結果ハ未ダ知ルを得ズ
 目下勢式上ニ労働者側ノ論ニ盛ナリ

附屬書
郵券
受32542

大正九年十月五日
第...課

發第五號

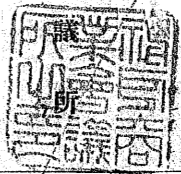
大正九年十一月二日

神戸商業會

外務省

通商局御中

拜啓時下益々御清榮奉賀候陳者當地三井物産株式會社船舶部より別紙寫の通りの書面を提出取調方依頼越候得共當所に於ては之に關しては何等聞知する處無之候に就ては公務御多忙中恐縮の至りに候得共事實御調査の上何分の御回答を煩し度此段及御依頼候也 敬具



神戸市相生町一丁目
神戸商業會議所

電話元町
一〇六五
一〇五番

大正九年十月十六日

神戸商業會議所

三井物産株式會社
船舶部

拜啓 濠洲労働者ノ排日ニ就テ

從來白人主義ヲ宣傳致居候濠洲ハ往々日本船舶ニ壓迫ヲ加フルノ弊有之候處本日シドニー弊社支店ヨリ左記ノ要領ノ電信入手仕候

"It is most probable wharf labourers refuse to load any Japanese steamer for New Zealand after October 31st (中略)"

"will telegraph later on final decision."

愈々右ノ如ク決定ノ曉ハ弊社取扱船タル榛名山丸・明海丸・京都丸ノ如キハ勿論ニユークアツスルヨリニユージランド行ニ取極メラレ居ル邦船(當方ノ探知スル所ニテハ西海丸・喜久丸・第二東洋丸ノ三隻取極ラレ居ル模様ニ御座候)ハ全部約定ハ取消ノ運命ニ逢着致ス

神戸市相生町一丁目
神戸商業會議所

電話元町
一〇六五
一〇五番

3-2391

0243

ベク自然邦船ノ打撃モ不尠サルモノ有之候殊ニ目下ノ如ク我海運界
ノ萎靡振ハサル際右ハ邦船ノ好消化航路ナリシモ右ノ爲メ邦船ノ活
躍圈内ヲ縮少サレントスル事誠ニ遺憾ノ至リニ御座候云々

神戸市相生町一丁目

神戸商業會議所

電話元町
二〇六五番

第11号
第11号
第11号

別添三紙切手
使用すべし

文書課長 松原

大正九年七月八日 接獲

大正九年十一月九日 起草
同日 八月九日 附

送第一七九号

主任 大正九年七月十日 發送

主管 通商局長

野中通商局長

神戸商業會議所 托

常任 田村新吉 光

濠洲労働組合ノ決議ニ関スル件

本件ニ関シ十一月二日附發第五號ヲ以テ

御申越了承右ニ表ニ在シトニ 玉木總

外務省

領事代理ヨリ電報ニ次第有主タル

ニ付 東京十月廿七日附電ニ合送第一四九号

(別紙寫ノ通)

號ヲ以テ東京三井物産會社業務課

へ申送置 知相成様

当該願出人ニ通達方可然御取計相成

度此般申進矣也

別紙在シト玉木總領事代理末電第八六号改文寫及
東京三井物産會社業務課宛十月二十七日附通ニ合送
第一四九六号寫添附ニト